★URL:http://w3.ias.tokushima-u.ac.jp/sgp/★ 徳島大学　全学共通教育センター

週刊 学びのコミュニティー

第40号

平成22年1月27日発行

【授業紹介No.5】

第5弾は、共創型学習『国際交流の扉を拓く』です。

（水曜日7・8時限/担当：橋本　智准教授/三隅　友子教授/金成海教授）

「国際交流の扉を拓く」は、国際センターの教員が担当し、受講者相互の対話を通して「文化」「交流」とは何かを考える授業です。日本人学生、留学生、そして社会人の皆さんが一つのクラスで学び、講義、グループディスカッション、発表など様々な活動を通して、それぞれの立場からの考えを共有しています。

本年度後期は、国際センターの金、三隅、橋本教員が担当しています。初めに徳島大学の留学生事情を紹介しました。徳島大学では29カ国から250名ほどの留学生が学んでします。一番多いのは中国、次いでマレーシア、エジプトの順です。留学生の数は、四国の大学の中で最多です。徳島にいる外国人は、留学生だけでなく、研修生、またEPA（経済連携協定）に基づくインドネシアやフィリピンからの介護士など、さまざまです。つまり、徳島にいて、国際交流ができる機会はたくさんあります。授業を通して日本人、留学生がそれぞれにそのことに気づき関心を持ってほしいと思っています。

参加型授業を心がけ、受講者が自ら考え方向性を導くことができるようにしています。教員はあくまでも「ガイド」役です。授業ではまず、「国際交流」とは何かを考えました。国際交流とは、異なる文化背景を持つ人とのコミュニケーションです。コミュニケーションは、単に情報を送ることではありません。情報をやり取りするとき、そこには送り手と受け手のフィルターがかかり、それぞれの文化・教育の背景によって情報は変化してしまいます。情報が大きく変化すると、そこには「ミス・コミュニケーション」が生まれます。これは避けるにはどうすればよいのでしょうか。「文化」とは何かを考えながら、この問題を避ける方法そしてミス・コミュニケーションから新たに何を学ぶのかについて考えました。

また、他の国の人と良い関係を持つには、それぞれの文化を良く知ることも大切です。それは、他の国の文化を知るだけでなく、自分の文化を知り、それを他の文化の人に効果的に紹介する力も求められます。受講生には、自分の国の「文化」について研究し、それを適切な方法で伝える練習も行います。

人との「交流」は、人間関係を築くことです。それは、国籍が同じ、違うに関係なく、適切な「つきあい」ができるかどうかに成功のカギがあるのでしょう。授業では、いくつかの体験型の活動を通して、「つきあう」「わかちあう」などのコンセプトを学んでいます。

上述の活動に加えて、二組のゲストスピーカーにお越しいただき、それぞれの専門と取り組みについてのお話をお聞きしました。徳島県

文化国際課国際交流室の長町さんには、徳島県の国際化に関して、特に多文化共生、交流推進事業など、県レベルの施策をご紹介いただきました。また、NPO法人ハーモニー・ワーク・キャンプの長尾さんご夫妻は、ベトナムやタイに出向き学校で子どもたちに音楽教育を行っています。受講者も指導のもとに歌、笛の演奏そして体を動かす国際交流の体験をしました。

この授業のねらいは、受講者の皆さんに自分の周りの世界の見直しのきっかけをもってもらうことです。これまでに持っていた「外国」「外国人」の概念を拡げる、新しくする、変えるといったことを試みよう！と言い換えられます。これからの社会は、様々な文化、価値観、習慣を持った人と協力していくことが要求されています。周りの変化と自分の変化を楽しみながら「国際交流」を当たり前のこととする、そんな心のあり方を目指しています。

（文責：橋本　智）

＊＊

Hatoba 企画　星空観賞会第 3 弾！

☆火星観望会 のお知らせ☆

1 月 31 日に地球に近づき、見ごろになる火星を
望遠鏡で
見てみませんか？☆

☆

日時：**2 月 2 日、3 日、5 日（雨天、曇り中止）**
19 時 40 分～21 時
＊3 日とも同じプログラムです。
お好きな日、全てに参加 OK です＊
場所：**4 号館学生支援室に集合。**
総合科学部　伏見賢一先生のお話を伺ってから、5 号館屋上へ移動し火星を観望します
定員：**30 名　どなたでもご参加いただけます**
（事前に学生支援室までお申し込みください）☆

Hatoba　『恋のうた学習会』

第 6 回は、

2 月 12 日（金）
15:00～16:30 頃
学生支援室にて行います。

第 1 回目に堤先生をお迎えして以来、着実に回を重ね、ぐんぐん成長中の学習会です。
どうぞお気軽にご参加ください。

大変寒いですので、暖かい服装でお越しください!!

～編集後記～

『週刊　学びのコミュニティー』の発刊から約 1 年、第 40 号を数えるまでになりました。情報を提供するだけでなく、この取り組みが円滑に進んでいくために、そして活発な学び合いのために一役を担うことができたら･･･そんな思いで毎週発行してきました。

1 年間ニュースの作成を通して、この取り組みを見つめてきましたが、ここあそこに様々なプロジェクトが生まれ、その活動が活発であった 1 年でした。それはこの紙面での紹介が追いつかないほどの勢いでした。間もなく後期の授業が終了します。今年度の反省をしっかり咀嚼しつつ、この勢いを来年度へと繋げていきたいと思います。（境）